新品種候補(2017 年 1 月作成)

育種事業課題名：りんご「ぐんま名月」の概要(213130)
担当部署：中央農試・作物開発部・作物グループ

キーワード：りんご、晩生、黄色品種、蜜入り、良食味

１．特性一覧表

品種名：「ぐんま名月」　交配組合せ：「あかぎ」×「ふじ」　育成者：群馬県　品種登録：1991 年

特性：　長所　１．安定して蜜が入り食味が良い。
　　２．「ふじ」に比べ多収である。
　　短所　なし

普及見込面積：　20ha

調査場所		中央農試				現地			
						旭川市、滝川市、余市町、七飯町			
調査年次(年)		1994～2003,2014～2016				2002～2004,2006～2008,2014～2016			
項目	品種名	ぐんま名月	つがる(標準)	ハックナイン(標準)	ふじ(標準)	ぐんま名月	つがる(標準)	ハックナイン(標準)	ふじ(標準)
1) 生態	発芽期 (月/日)	4/22	4/22	4/22	4/23	4/16	―	―	4/16
	満開期 (月/日)	5/27	5/27	5/25	5/27	5/19	―	―	5/18
	収穫期 (月/日)	11/3	9/28	10/29	11/8	11/2	―	―	11/4
幹周(cm)2)		31.8	27.0	38.7	33.3	20.4	―	―	24.2
収量	初結実樹齢 (年生)3)	5	5	5	5	5	4	4	―
	幼木～若木収量4)	126	103	279	(3.8)	98	(6.5)	283	―
	成木収量5)	125	89	177	(98.2)	―	―	―	―
	成木収量6)	―	―	―	―	230	(36.8)	274	―
	成木収量7)	―	―	―	―	163	―	―	(101.4)
1) 果実品質	果実重(g)	231	257	342	229	274	―	―	282
	地色指数(1:濃緑～8:濃黄)	3.5	4.6	3.7	3.6	3.5	―	―	3.2
	表面色指数(1:緑黄～6:濃黄)	―	―	―	―	2.5	―	―	―
	着色割合(0:無～10:全面)	2.0	9.2	7.8	9.4	2.3	―	―	8.1
	硬度(lbs)	14.3	12.9	13.1	16.2	13.3	―	―	15.0
	糖度(Brix %)	14.1	13.2	13.3	13.6	15.1	―	―	14.0
	酸度(g/100ml)	0.37	0.30	0.53	0.43	0.40	―	―	0.44
	糖酸比	38.1	44.5	25.5	32.1	38.3	―	―	31.8
	蜜入り(0:無～4:多)	2.4	0.2	0.8	2.6	2.8	―	―	2.7
	果実ごとの蜜入り変動係数(%)	15.8	―	―	52.5	21.5	―	―	31.1
	心かび果率(%)	0.0	0.0	2.5	0.0	2.4	―	―	0.0
8) 貯蔵性	硬度(lbs)	―	―	―	―	11.2	―	―	13.2
	蜜入り(0:無～4:多)	―	―	―	―	2.2	―	―	0.3
	内部褐変(0:無～3:多)	―	―	―	―	0.5	―	―	0.0
	やけ発生果率(%)	―	―	―	―	0.0	―	―	0.0
9) 特性値	果皮の地色	黄緑	黄緑	黄緑	黄緑				
	果皮を被う色の面積	小	大	やや大	大				
	樹勢	やや強	中	強	やや強				
	後期落果	無～少	中	無～少	無～少				
	耐寒性	強	強	強	強				
	斑点落葉病抵抗性	中	中	中	中				
	黒星病抵抗性	中	中	中	中				

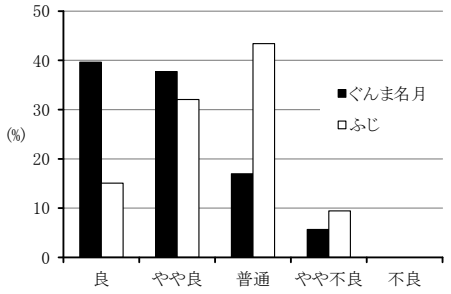

図　食味評価(中央農試、2014)　パネリスト:53 名

※試験場所「品種名」(定植年/使用台木):中央農試「各品種」(1992/M26)、旭川市「ぐんま名月」(2006/JM7)・「ふじ」(1996/M26/マ)、滝川市「ぐんま名月」(2007/M26/マ)・「ふじ」(2000/M26/マ)、余市町「ぐんま名月」(2008/M26/マおよび2012/JM7)・「つがる」(2000/JM7)・「ハックナイン」(2000/JM7)・「ふじ」(2010/JM7)、七飯町「ぐんま名月」(2008/M26)・「ふじ」(2008/M26)。M26/マはM26とマルバカイドウの二重台であることを示す。すべて定植年2年生。－はデータなし。「つがる」は初結実以降落果防止剤を散布。

注1) 中央農試は2000～2003年、現地は2014～2016年の平均値(ただし、蜜入り変動係数は中央農試2014年、現地2014～2015年)。
2) 中央農試は13年生。現地は余市町および七飯町における8年生の平均値。
3) 現地は余市町における値。
4) 中央農試または余市町における6年生までの積算値を「つがる」または「ふじ」に対する比で示した。括弧内は実数(kg/樹)。
5) 中央農試における10～13年生の積算値を「ふじ」に対する比で示した。括弧内は実数(kg/樹)。
6) 余市町における8～10年生の積算値を「つがる」に対する比で示した。括弧内は実数(kg/樹)。
7) 七飯町における8～10年生の積算値を「ふじ」に対する比で示した。括弧内は実数(kg/樹)。
8) 2014～2015年における冷蔵貯蔵約3か月後の平均値。
9) 2014～2016年調査。

２．特記すべき特徴

「ぐんま名月」は 10 月下旬から 11 月上旬に収穫できる晩生品種であり、糖度が高く、酸度は低く、果実に安定的に多くの蜜が入り、食味が優れる。外観は陽向面がわずかに着色する黄色品種である。後期落果が少なく、「ふじ」に比べ多収であり、冷蔵で 3 か月程度の貯蔵が可能である。また、耐寒性が強く、全道のりんご生産地域で栽培が可能である。

３．優良品種に採用しようとする理由

本州のりんご主産県における品種構成は、市場出荷が主体となっているため「ふじ」が約 50%を占めている。しかし、北海道は、成熟期が遅い「ふじ」の良品生産が難しいことと直売による販売が中心になっていることから、「ふじ」は約 15%に留まっており、「つがる」を筆頭に多様な品種が栽培されている。

近年、消費者は酸味が少なく甘味が多いりんごを好む傾向にある。また、黄色品種はりんご栽培管理の 10%以上を占める葉摘み・玉回しといった着色管理が不要であり、本道りんご栽培面積に占める黄色りんごの割合は増加傾向にある。

「ぐんま名月」は「ふじ」よりやや早い 10 月下旬から 11 月上旬に収穫でき、糖度が高く、酸度は低く、果実に安定的に多くの蜜が入り、多汁で食味が優れる。果実重は「ふじ」並であり、外観は果面がなめらかでさびの発生が少なく、陽向面がわずかに着色する黄色品種である。後期落果が少なく、「ふじ」に比べ多収であり、収穫後冷蔵で 3 か月程度の貯蔵が可能である。また、耐寒性が強く、全道のりんご生産地域で栽培が可能である。

道内の一部地域では「ぐんま名月」の中でも高品質な果実に独自のブランド名を付して市場出荷し、知名度向上を果たしている。

以上から、「ぐんま名月」を優良品種として普及をすすめることにより、生産者の着色管理労力を低減するとともに、消費者の嗜好にあった蜜入りが多く甘いりんごを提供することが可能となり、北海道りんごの知名度向上とブランド力強化に寄与できる。

４．普及見込み地帯

全道のりんご栽培地域

５．栽培上の注意

なし